

中三国語科通信

第1号
平成31年4月20日
国語科3年担当
奥池・高嶋・篠田



葉桜の小道を駆けるランドセル軍
団にわが子もまざりいる

「脳味噌を動かす授業」

三年生の皆さん、改めまして、こんには。「脳味噌を動かす授業」、三年目に入りました。このスローガン、もう聞き飽きました？でも、実践できていない人はたくさんいますよね。やはり今年度も、このスローガンを掲げて、脳味噌に大波が立つような一年にしたいと思っています。最高学年として、下級生たちのお手本となるような「全力」、見せてくださいな。

私と欲望

吉森詩真

私は金が好きだ。この世を生き抜くために必要なものは基本買える。だから、私は金に食欲であり、今も金が欲しくてたまらない。
よく愛は金で買えないと言う。それは私も同感だ。しかし、愛があっても生きてはいけない。愛を手に入れる為には多少の金は必要である。だから、私は今日も金が欲しい。

私と時間

立山 晟

私は、時間という存在が嫌いだ。楽しい時は、あつという間に過ぎていくが、退屈な時は永遠に感じる。時間は、いつも同じスピードに流れているはずなのに、速さが違って感じるのは不思議である。時間は無限にあるように感じるが、確実に死に近づいていつている。時間は有限だから、一秒でも時間を大切に使うべきだと思う。

私と宮崎

宮崎有里

私の苗字は宮崎だ。また、生まれは宮崎、宮崎小学校出身である。
私はそれが嫌だった。宮崎は遊ぶ所もなく、南国という事でしか売りが無い田舎だからだ。
しかし、以前東京旅行から帰って来た時、宮崎の空気を吸って、すごく安心感を抱いた。その時に、やはり私には、この長閑で埴輪が迎えてくれる宮崎が合うと思った。

私と学校

荒武凌伍

今の当たりまえの毎日の中に学校は欠かせないものになっている。
でも、時にはこの学校が面倒だと思ってしまうこともある。それはまわりの人への感謝が足りていないんだと思う。
学校では色々な人と出会う。そこで、自分にはない様々な価値観を学んで成長していけるかけがえのない空間だと思っている。

私と家族

那須心音

私は今、寮生活をしている。
寮生活をしていると、今まで以上に親のありがたみと愛しさに気づくことがある。学校では同級生、寮では先輩方や同室の子など、相談する相手がいる。しかし、親は私の今までを誰よりも理解している。だから、一番私の心に寄り添い、支えてくれる。だから私は毎日、笑顔でいることが出来るのだ。

私と家族

川西晃生

私と家族は切ろうとしても切れない関係だ。今の私は母が料理を作り、父が働いてくれるおかげで存在している。だから私と家族は切ろうとしても切れない関係なのだ。たまに、切りたくなる時もある。しかし私が家族にしてみたら切れていることを考えると私は切れない。私は、私を存在させてくれている家族に感謝している。

コラムマラソン 第一回 「頑張る」とは

高崎伊緒里

新学年がスタートしてまだ間もないですが、昨年度よりも引き締まった表情をして授業に臨んでいるように見え、とても頼もしく感じています。
さて、みなさんは今年の東京大学入學式での祝辞を聞いたでしょうか。ニュースでは賛否両論ありましたが、私にはぐっとくる部分がありました。
あなたたちはがんばれば報われる、と思っただけで来たはずですが。《中略》がんばったと報われるとあなたがたが思えることそのものが、あなたがたの努力の成果ではなく、環境のおかげだったことと忘れないようにしてください。あなたたちが今日「がんばったら報われる」と思えるのは、これまであなたがたの周囲の環境が、あなたがたを励まし、背中を押して、手を持ってひきあげ、やりとげたことを評価してほめてくれたからにこそです。《中略》あなたがたのがんばりを、どうぞ自分が勝ち抜くために使わないでください。恵まれた環境と恵まれた能力とを、恵まれないひとびとを貶めるためではなく、そういうひとびとを助けるために使ってください。そして強がらず、自分の弱さを認め、支え合って生きてください。
頑張るって何かを成し遂げた時のことを思い返すと、やはり自分一人だけの努力の結果というわけではなく必ず支え助けてくれた存在があるはずですよ。「頑張る」とは「困難にめげず我慢してやり抜く」ことであると辞書にありました。これから一年間、中学生生活の集大成として「頑張る」場面はたくさん出てくると思いますが、周囲を頼りながら、そして感謝を忘れず、悔いのない毎日を送ってほしいものです。